

料金後納
郵便

第71期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

パイオニア株式会社

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

濡れている場合は乾かしてからはがして下さい

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当中間期の連結業績

当中間期の売上高は、主に円高の影響により、前年同期に比べ14.5%減収の1,904億円となりました。営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の減少や原価率の良化はありましたが、売上高が減少したことにより、前年同期に比べ27.0%減益の15億円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純損益は、営業利益は減少しましたが、為替差益が増加したことなどから、前年同期の20億円の損失から10億円の利益となりました。

中期計画の着実な推進

当社は、車室空間における快適、感動、安心・安全を創出する『総合インフォテインメント』のリーディングカンパニーを目指し、中期計画に掲げた将来の成長の基礎となる諸施策を着実に推進しております。

OEM事業では、継続的な収益性改善施策に加えて、今後、事業拡大に伴い増加が見込まれる開発投資の低減に向け、さらなるプロセス改善や開発の効率化に取り組んでおります。また、来年2月のメキシコ新工場の稼働準備を進めるなど、グローバルな生産体制の強化に取り組む、生産性向上を追求しております。

市販事業では、コネクテッドカーライフの早期実現に向け、スマートフォン連携商品の拡充を進めるとともに、自動運転時代を見据え、独自の先進運転支援機能を搭載した“マルチドライブアシストユニット”を本年9月に市場導入するなど、「安心・安全」への新たな付加価値提案によるビジネス拡大に注力しております。

地図事業・自動運転関連では、自動運転に必須となる3D-LiDAR(ライダー)センサーや高精度地図データの開発を進めております。さらに、ドイツの位置情報クラウド企業のHERE(ヒア)と、自動運転向け地図を効率的に整備・更新・運用する高度化地図“データエコシステム”の構築に取り組み、『自動運転の実現に欠かせない会社』を目指してまいります。

当期は、収益目標の達成はもちろん、これらの施策を通じて将来の成長の基礎を築くことで、持続的な成長と早期復配の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年12月

代表取締役 兼
社長執行役員

小谷 進

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行済株式総数 372,223,436株

(注)発行済株式総数には自己株式5,030,336株を含んでいます。

株主総数 46,730名

大株主(上位5名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	27,886	7.59
株式会社NTTドコモ	25,773	7.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,769	6.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,641	3.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	10,159	2.76

(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数を控除して算出しています。

会社の概要 (平成28年9月30日現在)

商号	パイオニア株式会社
本社所在地	〒113-0021 東京都文京区本駒込2丁目28番8号 文京グリーンコート
資本金	917億3,171万4,430円
従業員数	3,077名(単独)／17,242名(連結)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部) 証券コード:6773
問い合わせ先	経営戦略部 IR・広報部 証券業務課 電話:(03)6634-8777(代表) Eメール:pioneer_shr@post.pioneer.co.jp

投資家情報サイトのご紹介



最新のニュースや財務情報など、様々なIR情報を掲載しています。

パイオニア 投資家情報 検索

<http://pioneer.jp/ir/>

カーライフ全般で安心・安全をサポートする “マルチドライブアシストユニット”を発売

■“サイバーナビ”と連携して実現する多彩な安心・安全機能

当社は、安心・安全をサポートする多彩な先進機能を搭載した“マルチドライブアシストユニット”を発売しました。本機には、カーナビゲーションシステム“サイバーナビ”と連携させると、交通事故のリスクを抑制する様々な先進運転支援機能が搭載されています。さらに、ドライブレコーダー機能や、車上荒らしなどによる車の異常を検知しドライバーにメールで伝えるセキュリティ機能など、多彩な安心・安全機能が搭載されています。



▲“サイバーナビ”



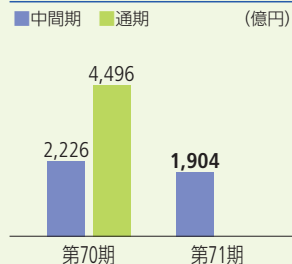
▲“マルチドライブアシストユニット”

連結業績ハイライト

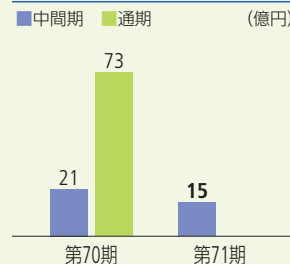
POINT :

- ・売上高は、主に円高の影響により14.5%の減収
- ・営業利益は、販売費及び一般管理費の減少や、原価率の良化はあったが、売上減により27.0%の減益
- ・親会社株主に帰属する当期純損益は、為替差益の増加等により黒字化

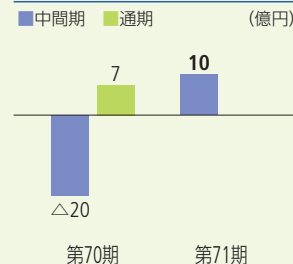
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純損益



■画期的な先進運転支援機能のご紹介

“マルチドライブアシストユニット”に搭載された先進運転支援機能の一つ「右折時つられ発進検知機能」は、経済産業省の「次世代高度運転支援システム研究開発・実証プロジェクト」から得られた知見に、当社独自の高度な画像認識技術と長年蓄積してきた道路交通情報のビッグデータを組み合わせることで実現しています。

“マルチドライブアシストユニット” による「右折時つられ発進検知機能」

独自に割り出した事故発生リスクの高い交差点で右折のため停止した後、前方車両につられて車をうっかり発進すると、効果音で注意を喚起

